



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 クニミネ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5388 URL <https://www.kunimine.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國峯 保彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 勢藤 大輔 (TEL) 03(3866)7256
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,594	△6.6	1,604	20.7	1,709	16.5	1,163	△0.4
2020年3月期第3四半期	11,338	8.3	1,329	11.9	1,467	18.5	1,168	43.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,127百万円(△0.1%) 2020年3月期第3四半期 1,127百万円(17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	90.22	—
2020年3月期第3四半期	85.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	23,141	19,205	81.4
2020年3月期	21,918	18,465	82.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 18,827百万円 2020年3月期 18,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,419	△6.6	2,176	12.7	2,276	8.7	1,577	△4.3	122.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	14,450,000株	2020年3月期	14,450,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,548,395株	2020年3月期	1,548,395株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	12,901,605株	2020年3月期3Q	13,674,859株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）	P 1
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
（1）四半期連結貸借対照表	P 3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
（継続企業の前提に関する注記）	P 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	P 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P 7
（追加情報）	P 7
（セグメント情報等）	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による急激な落ち込みから、緊急事態宣言の解除を受けて第2四半期以降持ち直しつつありますが、感染終息は見通せておらず、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

鉱工業生産におきましては、国内外の需要の落ち込みや世界各国の工場停止に伴うサプライチェーン障害による大幅減産の後、自動車生産台数の持ち直し等に伴う回復基調が見られますが、半導体供給不足による自動車の生産調整も懸念されており、予断を許さない状況が続いております。一方、個人消費も、政府・自治体による景気浮揚策が実施されましたが、第3波と言われる感染者の増加が続いており、1月からの再度の緊急事態宣言による個人消費の抑制が予想され、厳しい状況が続いております。

今後の景気の先行きにつきましては、国内外の新型コロナウイルス感染拡大の動向の他、各国のロックダウンや外出自粛要請等の経済への影響、米中通商問題での対立激化の恐れ、金融資本市場の動向も合わせて留意する必要があると考えられます。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車国内生産の復調により、第1四半期の大幅減産以降は回復傾向が続いております。また、土木建築業界においては、新設住宅着工数の減少傾向は変わらず全体としては厳しい状況となりましたが、復興・環境整備関連事業は前年同期に対して大幅な増加となりました。

このような背景のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症のリスク対応を図り、高付加価値品の販売強化と、復興・環境整備関連事業等の需要を積極的に取り込む一方で、販売管理費等の見直しにより、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、主力のベントナイト事業部門および化成品事業部門が減収となった一方で、アグリ事業部門が増収増益であったことやベントナイト事業部門のうち採算性の高い復興・環境整備関連事業の需要が大幅に増加したこと等から、売上高は105億94百万円(前年同期比 6.6%減)となりましたが、営業利益は16億4百万円(同 20.7%増)、経常利益も17億9百万円(同 16.5%増)となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にあった投資有価証券売却益1億45百万円や、ふくしま産業復興投資促進特区における税額控除が当第3四半期は無いこと等により、11億63百万円(同 0.4%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、自動車国内生産台数が回復傾向にあるものの、第1四半期までの大幅な需要の落ち込みが影響し減収となりました。土木建築関係は、復興関連の需要は増加したものの新設住宅着工件数の減少等の影響によりほぼ横ばいとなりました。ペット関係は、コロナ禍による販売チャネル別シェアの変化の影響を受け減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は74億71百万円(前年同期比 9.9%減)、セグメント利益は13億64百万円(同 9.6%増)となりました。

② アグリ事業

主たる農薬分野において、従来、下期に集中していた農薬生産時期の分散化への取り組み等により、受託製品の生産を一部前倒した結果、特に水稲用除草剤の売上が増加したこと等から大幅な増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は21億67百万円(同 11.9%増)、セグメント利益は5億41百万円(同 47.0%増)となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカル分野において、クニピアの一般工業用途としての輸出向けを中心として各分野での需要は回復傾向にあるものの、第2四半期までの大幅な落ち込みが影響し、減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は9億56百万円(同 14.0%減)、セグメント利益は26百万円(同 59.9%減)となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正に関する詳細につきましては、2021年1月21日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,206,384	7,751,698
受取手形及び売掛金	4,836,025	4,955,324
有価証券	699,080	665,538
商品及び製品	454,670	506,210
仕掛品	247,624	322,198
原材料及び貯蔵品	1,604,698	1,185,165
その他	19,258	73,715
流動資産合計	14,067,742	15,459,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,999,598	1,962,099
機械装置及び運搬具(純額)	2,068,295	1,870,538
土地	1,779,625	1,779,575
リース資産(純額)	51,956	92,731
その他(純額)	186,131	243,378
有形固定資産合計	6,085,607	5,948,323
無形固定資産	104,270	89,462
投資その他の資産	1,660,655	1,643,812
固定資産合計	7,850,534	7,681,597
資産合計	21,918,276	23,141,448
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,254,265	786,700
1年内返済予定の長期借入金	—	50,000
未払法人税等	370,367	277,470
賞与引当金	154,231	73,832
その他	744,060	824,855
流動負債合計	2,522,923	2,012,859
固定負債		
長期借入金	—	950,000
退職給付に係る負債	8,576	10,981
閉山費用引当金	552,938	561,592
資産除去債務	23,494	23,494
その他	344,846	376,895
固定負債合計	929,855	1,922,964
負債合計	3,452,779	3,935,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	3,672,201	3,672,201
利益剰余金	13,970,483	14,747,385
自己株式	△1,375,558	△1,375,558
株主資本合計	17,884,925	18,661,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	192,741	171,186
繰延ヘッジ損益	△1,724	—
為替換算調整勘定	26,539	△5,112
その他の包括利益累計額合計	217,556	166,074
非支配株主持分	363,014	377,722
純資産合計	18,465,496	19,205,624
負債純資産合計	21,918,276	23,141,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	11,338,286	10,594,833
売上原価	7,674,801	6,793,195
売上総利益	3,663,484	3,801,638
販売費及び一般管理費	2,333,785	2,197,272
営業利益	1,329,699	1,604,365
営業外収益		
受取利息	11,485	3,559
受取配当金	115,796	106,108
その他	22,233	11,971
営業外収益合計	149,514	121,640
営業外費用		
支払利息	1,421	3,718
コミットメントフィー	2,362	1,958
保険解約損	2,750	—
自己株式取得費用	2,749	—
為替差損	1,682	10,052
その他	1,242	555
営業外費用合計	12,207	16,284
経常利益	1,467,006	1,709,721
特別利益		
固定資産売却益	6,030	349
投資有価証券売却益	145,213	—
補助金収入	—	51,666
特別利益合計	151,243	52,016
特別損失		
固定資産除却損	20,393	14,882
災害による損失	—	25,083
その他	—	5,850
特別損失合計	20,393	45,816
税金等調整前四半期純利益	1,597,855	1,715,921
法人税、住民税及び事業税	369,211	454,027
法人税等調整額	23,695	67,436
法人税等合計	392,906	521,464
四半期純利益	1,204,949	1,194,457
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,329	30,507
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,168,619	1,163,950

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,204,949	1,194,457
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,405	△21,555
繰延ヘッジ損益	461	1,724
為替換算調整勘定	△25,194	△47,451
その他の包括利益合計	△77,139	△67,282
四半期包括利益	1,127,810	1,127,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,098,015	1,112,467
非支配株主に係る四半期包括利益	29,794	14,708

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
減価償却費	668,699千円	638,635千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

感染拡大に伴う経済への影響は概ね3年は続くとの仮定のもと、当四半期連結会計期間末日において、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

しかしながら、この仮定は不確実性が高く、その影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載致しました内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ベント ナイト事業	アグリ事業	化成品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,290,197	1,936,422	1,111,666	11,338,286	—	11,338,286
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61,377	—	86,120	147,497	△147,497	—
計	8,351,575	1,936,422	1,197,786	11,485,784	△147,497	11,338,286
セグメント利益	1,245,263	368,311	67,002	1,680,577	△350,877	1,329,699

(注) 1. セグメント利益の調整額△350,877千円には、セグメント間取引消去△344千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△401,685千円及び棚卸資産の調整額51,151千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ベント ナイト事業	アグリ事業	化成品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,471,004	2,167,621	956,207	10,594,833	—	10,594,833
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,096	—	86,801	146,898	△146,898	—
計	7,531,101	2,167,621	1,043,009	10,741,732	△146,898	10,594,833
セグメント利益	1,364,761	541,368	26,877	1,933,008	△328,642	1,604,365

(注) 1. セグメント利益の調整額△328,642千円には、セグメント間取引消去△3,136千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△384,558千円及び棚卸資産の調整額59,052千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。